

科目名 (科目番号)	病原微生物学 (時間割参照)	教員名 熊田 薫	学科等	理学療法	選択	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			授業形態	講義	オフィスアワー	非常勤講師	
授業概要	ヒトに病気を起こす病原微生物の種類、特徴、感染経路、感染力、病原性の強さ、有効な薬剤および耐性菌などについて学ぶ。また、臨床の現場で必要な感染予防についての知識も習得する。						
目的・目標	目的:理学療法士として必要な病原微生物学の知識を習得する。 目標:病原微生物が起こす疾患について理解すると共にその感染予防についても理解し、説明できる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	病原微生物の基礎知識	到達目標:病原微生物について理解する。 学習内容:微生物そのものおよびヒトに病気を起こす微生物の特徴について学習する。				
	2	感染症、感染症の予防対策	到達目標:感染症について理解する。 学習内容:感染が成立するための要因について学習する。病原体と宿主との関係、医療関連感染、標準予防策、感染経路別予防策などについて学習する。				
	3	細菌感染症 (1)	到達目標:細菌感染症について理解する。 学習内容:食中毒、肺炎、髄膜炎などをおこす細菌感染症などについて学習する。				
	4	細菌感染症 (2)	到達目標:細菌感染症について理解する。 学習内容:性感染症、海外で流行している感染症などについて学習する。				
	5	ウイルス感染症	到達目標:ウイルス感染症について理解する。 学習内容:呼吸器および消化器のウイルス感染症、昆虫媒介性ウイルス感染症などについて学習する。				
	6	真菌感染症、原虫感染症、プリオン	到達目標:真菌感染症、原虫感染症、プリオンについて理解する。 学習内容:カンジダ、アスペルギルス、マラリア、アメーバ赤痢、トキソプラズマ、プリオン病などについて学習する。				
	7	感染症に関連する法	到達目標:感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、予防接種法などについて理解する。 学習内容:上記の法の仕組み、その運用について学習する。				
	8	感染症の診断・検査と治療、ワクチン、滅菌・消毒	到達目標:感染症の診断・検査および治療について理解する。 学習内容:感染症診断の流れ、症状、検査および治療、ワクチン、血清療法、滅菌・消毒などについて学習する。				
成績評価の方法・基準	期末試験 100%						
教科書	ウォームアップ微生物学		中込浩		医学書院		
参考図書	ブラック微生物学 第3版(原書8版)		J.Black著、神谷茂監訳		丸善出版		
教員からのメッセージ	毎時間に手元試料を配布するので、復習をしてください。微生物について好奇心をもって受講してもらいたいと思います。						